

1. 背景・目的

- 魚津市では、平成26年7月に「魚津市公共施設再編方針」が策定され、施設の総量は圧縮しながらも、できるだけサービス水準を落とさないことを前提として、市内の個別施設に係る再編目標が示されたところである。
- 上記再編方針を前提に、平成29年度には関係部署と協議を行い、魚津総合公園及び新川学びの森天神山交流館の両施設を対象とした取組みを進めることが決定され、平成30年度には、両施設の事業化に向け、サウンディング等の民間事業者との対話を通じた検討を進めてきた。
- 令和元年度は、前年度の検討を踏まえ、両施設の公募及び事業者の選定を行うとともに、現行の再編計画の見直しの方針を見据え、次年度以降の官民連携事業に向けた取組みのあり方について協議を行った。

2. 事業概要

- 以下の施設に係る公募及び事業者選定を実施した。
 - 魚津総合公園賑わい創出に向けたパートナーシップ構築事業
 - 学びの森天神山交流館の一部施設・余剰敷地の利活用に係る事業
- 上記に加え、本年度に市が策定した「魚津市公共施設再編方針見直し(案)」における協議・検討を踏まえ、次年度以降の官民連携事業に向け、関係部署との協議及び方向性の検討を実施した。

3. 地域プラットフォームの取組概要

- 魚津総合公園及び学びの森天神山交流館に係る取組は以下のとおり。

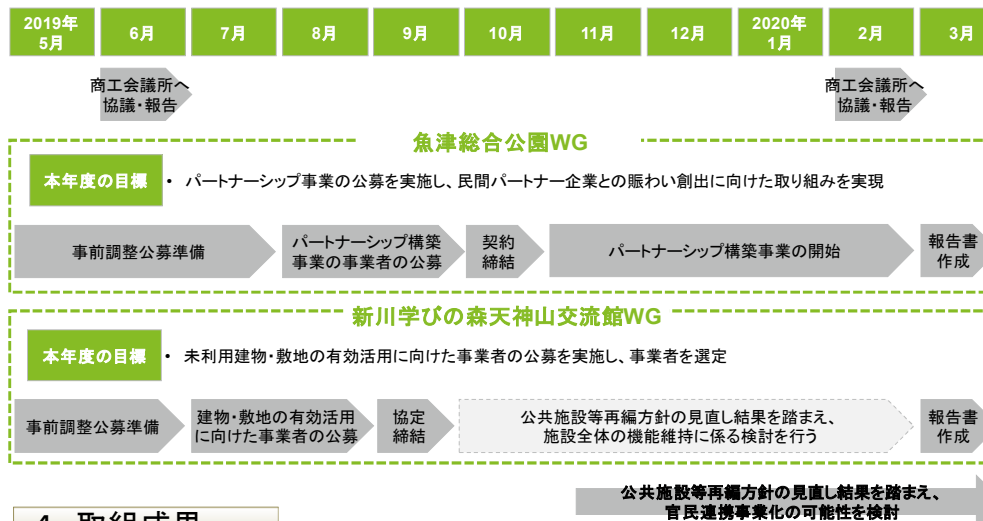
魚津総合公園賑わい創出に向けたパートナーシップ構築事業

取組概要	現指定管理者と連携し、公園のにぎわい創出を行うパートナー企業の募集・選定(令和元年10月～令和2年9月末まで) 現指定管理者が保有する遊戯施設の利用料金収入増加分の一部を民間パートナー企業に還元する「成果連動型」の委託契約を締結
主な取組内容	・募集要項等の準備、公募の実施(3者より提案あり)、事業者の選定 ・10月よりパートナーシップ構築事業に着手
取組成果	公園ホームページの開設、無料休憩所のリノベーション、公園愛称の募集などを実施中。現在、定期的なイベントなどにつき計画中

学びの森天神山交流館の一部施設・余剰敷地の利活用に係る事業

取組概要	食堂施設、宿泊棟及び一部余剰敷地を活用する事業者を募集・選定
主な取組内容	募集要項等の準備、公募の実施(1者より提案あり)、事業者の選定 現在事業化に向け事業者と協議中
内容	ワイン及びシードルの醸造及び販売に係る施設として活用する提案

- 庁内関係8課との協議を行い、次年度以降の官民連携事業の方向性を協議、検討した。



4. 取組成果

- 平成29年からの取組みを通じ、本年度、対象2施設(魚津総合公園及び学びの森交流館)の公募を実施し、事業者を選定することができた。
- 魚津総合公園賑わい創出に向けたパートナーシップ構築事業においては、「成果連動型」(にぎわい創出に伴って現指定管理者が有する遊戯施設の売上が増加することで、当該増加分の一部を民間パートナーに還元する仕組み)という先進的なスキームを導入することができた。
- また、魚津総合公園の取組みは本年度10月より開始されており、すでいくつかの点で成果を上げ始めている。
- 本年度に行われた魚津市公共施設再編方針の見直しに向けた議論を踏まえ、次年度以降、①小学校跡地、保育園、公民館などの現状整理、一体的な活用方針の検討、②学びの森交流館の機能維持の可能性、③総合体育館・プール等跡地の有効活用、④魚津総合公園の更なる取組の推進に関する検討を進めることとしている。

5. 今後の活動計画

- 次年度以降、以下の各施設の事業化に向けた検討を行う。

